令和２年度体力向上マネジメント指導者養成研修（NITS オンライン研修）
実施要項

１　目　　的

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっており、「生きる力」を支える重要な要素である。子供たちが、現在及び将来の体力の向上を図るために、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるようにすることが大切である。

本研修では、学校全体で校長のリーダーシップの下に、日々の教育活動、学校の資源を一体的にマネジメントした各学校や地域の実態等に即した子供たちの体力向上を図るための手法等を修得する。さらに、学校が組織的に子供たちの体力の向上に取り組むことで、１）子供たちの体力に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、２）学校、地域の教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

２　主　　催　　独立行政法人　教職員支援機構

３　共　　催　　文部科学省

４　受講期間等　※期間及び期限は全て令和２年度

受講者は、以下①～⑤の中から受講可能な期間を第２希望まで選択し、推薦者に報告する。

受　講　期　間（選択制）	推薦期限
①　１１月１０日（火）～１１月１２日（木）	１０月１２日（月）
②　１１月１７日（火）～１１月１９日（木）	
③　１２月　１日（火）～１２月　３日（木）	
④　１２月　８日（火）～１２月１０日（木）	
⑤　１２月１５日（火）～１２月１７日（木）	

※　視聴可能期間については、受講期間の前後１週間程度を予定しており、システム上はこの期間内のいつでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

５　実施方法　　インターネットでオンライン研修を視聴する。（同時双方向通信は行わない）

６　配 信 元　　独立行政法人教職員支援機構　つくば中央研修センター
〒305-0802　茨城県つくば市立原３番地

７　受 講 者

（１）受講資格

①　各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

②　幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、各学校（園）や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者

③　当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※　本研修は、学校教育活動全体を通した子供の体力向上を図るための指導者養成を目的としており、受講者の推薦に当たっては、体育・保健体育の教科の専門性を問うものではないことに留意すること。

※　「第４次男女共同参画基本計画」（平成２７年１２月２５日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を２０％以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

（参考：令和元年度･･･１８．２％、平成３０年度１７．５％）

（２）推薦手続

推薦期限は、令和２年１０月１２日（月）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、［様式１］により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、［様式１］により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、［様式１］により推薦を行う。

（３）受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。本研修はすべてオンラインで実施するため、定員に制限は設けないが、各受講期間における人数比の調整のため、第２希望で受講決定をする場合がある。

８　研修内容

子供たちの体力の向上について、考え方・実施・評価・改善について具体的事例も介して理論等について学ぶ。それを踏まえ、各学校や地域の実態等に即した体力向上を図るための手法等を習得し、校長のリーダーシップの下、学校全体で取り組むマネジメントについて検討する。

日程表は「別紙１」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

９　事前課題

（１）研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

（２）その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

１０　研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後、１年程度の期間後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

１１　そ の 他

（１）すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

（２）本研修は、非集合型のオンライン研修であり、学習管理システム「学びばこ」（（株）テクノカルチャー）を利用して研修を配信するものである。「学びばこ」はソフトウエアやアプリをダウンロードする必要がなく、スマートフォン等の端末からも視聴でき、システム上はどこからでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

令和2年度　体力向上マネジメント指導者養成研修（NITSオンライン研修）日程表

	9:00						16:00
（火）	開講にあたって	講話 文部科学省講話	（第1講） 講義・演習 学校全体で取り組むマネジメントの在り方	リフレクション	昼休憩	（第2講） 講義・演習 学校の体力向上マネジメントの基本的な考え方	リフレクション
（水）	（第3講） 事例発表 体力向上の取組事例について 【コース選択式】 【幼小コース】 【中高コース】			リフレクション	昼休憩	（第4講） 講義・演習 体力向上に関する指導者の役割 【コース選択式】 【幼小コース】 【中高コース】	リフレクション
（木）	（第5講） 講義・演習 子供の体力向上を図るために			リフレクション	昼休憩	（第6講） 講義・演習 研修成果の活用 教職員支援機構	閉講にあたって

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人またはグループ演習の時間です。

※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講して下さい。